



東海大学放送研究部OB会・第3回定期総会議事録

日 時:2009(平成21)年9月13日(日) 14時00分～16時00分

場 所:東海大学代々木校舎 3号館 第一会議室

出席者:佐藤(誠), 村居, 高崎, 木村(正), 小林(洋), 今宮, 野口, 井上, 吉田(邦), 瀬川, 砂子,
吉田(公), 小林(三), 佐藤(一), 橋本, 山田, 佐藤(貴), 平井, 白石
オブザーバー:高橋(資料センター), 平子, 内田, 大橋(現役) (敬称略)

第1部

講 演 : 佐藤 誠 氏(放送研究部OB, 昭和37年卒業)

演 題 「進取の気象」

第2部 総会議事

今回は司会・議長を橋本泰三郎氏が担当した。

会長挨拶 木村正義

1. 平成20年度 事業報告
2. 平成20年度 決算報告
3. 会計監査報告
4. 平成21年度 事業計画
5. 会則改定について
6. 平成21年度 予算案
7. 役員改選
8. その他

事業報告の前に砂子副会長より (資料1頁)

平成20年度までは53名の会員であったが, 20年度に新たに6名の入会があり, 1名が逝去されたため脱会し, 会員総数は58名となっている。との会員状況報告があった。

==== 議事 ====

1. 平成20年度 事業報告 (副会長 : 砂子昭彦) (資料2頁～3頁)

配布資料に基づき, 以下の項目について報告があった。

(1)平成 20 年 9 月 14 日 第 2 回 定期総会開催。(東海大学代々木校舎 4405 教室)

①講 演 会:学園史資料センター長 曾根 總雄先生 14:30～15:30

演 題:「大学と放送研究部の歩み」

②総 会:定期総会 15:40～16:40

③懇親会 DINING OUT 53(新宿センタービル/53 階)

出席者:27名(招待者含む)

(2)平成 20 年 11 月 3 日 第 54 回 建学祭激励訪問。

(3)役員会, 懇親会開催

①第 1 回 2009 年 1 月 10 日(土) 東海大学代々木校舎 (4403 教室)

②第 2 回 2009 年 5 月 8 日(金) 「まちだ中央公民館」

③第 3 回 2009 年 7 月 4 日(土) 東海大学代々木校舎 (4403 教室)

④第 4 回 2009 年 8 月 18 日(火) 「まちだ中央公民館」

(4)第1回放送研究部合同役員会(OB会役員と現役役員の交流)

場所:町田文化交流センター5F「カトレア」

(5)HP更新・・・全8回。

(6)総会案内等発送。(8月)

(7)OB会振替用紙500部放研に送る。(3月)

(8)OB会の会員募集案内を「Air TBC」に掲載してもらうための原稿作成。(4月)

(9)学園史資料センター訪問。(6月)

*特に今年度は現役の役員とOB会役員が一堂に会し、意見交流が出来たことが大きな収穫であった。

また、このような合同役員会は今後も続けていきたい。との報告があった。

=== 一同, 拍手で賛同 ===

2. 平成20年度 決算報告 (会計 : 小林三枝子) (資料4頁・左表)

資料に基づき報告がなされた。また、以下の説明と意見があった。

- ・OB会として例年のとおり、現役部員に「活動支援金」を渡した。
- ・今年度の特筆すべき点としては、会費前納者が多く、当初心配していた赤字決算にはならなかったが、これも次年度以降前納者がなければ同様の心配がある。
- ・会費以外に予算獲得を積極的に進めていきたい。先ず、HPを提供しているさくらインターネットでHPにコマーシャルを掲載して多少の収益を考えてみることにした。
- ・今年度は合同役員会の開催のため、会議室使用料が必要だったため予算をオーバーした。
- ・決算報告で、次年度繰越金を支出費目と同列で記述するのはおかしいので、次年度からは記述方法を改めることになった。

=== 一同, 拍手で賛同 ===

3. 会計監査報告 (会計監査 : 吉田公子)

・通帳、現金、領収書等監査の結果、適正に処理されており報告の通り相違ない。

=== 一同, 拍手で賛同 ===

4. 平成21年度事業計画案 (副会長 : 砂子昭彦) (資料5頁)

配布資料のとおりである。

- ・現時点では前年度の活動方針を踏襲しながら新しい活動計画を組み入れていく予定で、新しい会員の獲得にも力を注いでいきたい。
- ・今年度も合同役員会は是非、開催したいと思っている。
- ・21年度も各種連絡は電子メールを使って行いたいと思っている。

=== 一同, 拍手で賛同 ===

5. 会則改定について (事務局 : 佐藤一) (資料5頁)

改定の内容は資料に記述したとおりである。

(理由)今後、OB会としても顧問をはじめとして相談役などいろいろな役員を考える必要が出てくるのが考えられるので、現行の顧問の記述の前に資料に示したように「放送研究部の」の一文を加えたい。

=== 一同, 拍手で賛同 ===

6. 平成21年度 予算案（会計：小林三枝子）（資料4頁・右表）

資料に沿って説明がなされた。

- ・予算案は基本承認されたが細部の記述に不備な点があり役員会にて修正することになった。

=== 一同, 拍手で賛同 ===

7. 役員改選（新役員案を当日配布）

参加者に立候補を募った。どなたからも挙手がなかったため、事務局が用意した案を提示することの了承を得て、以下に示す役員が承認された。

- ・砂子副会長・・・ 退任

=== 一同, 拍手で賛同 ===

8. その他

- ・資料6頁の〈参考データ〉を基に昨年10月から今年8月までのHPアクセス状況を事務局より説明があった。

- ・木村さんより以下のような提案があった。

放研OBの中には日本だけでなく海外で活躍しているOBもおり、役員会などをそのような方々がいる場所などで開催することも考えられるのではないかと。

例えば一つの例として大喜多さんのいるラスベガスなども候補として考えられる。そのように、OB会として思い出に残る活動を考えるのもいいのではないかと。